第１学年　音楽科　学習構想案

日　時　　令和５年９月１９日（火）第５校時

場　所　　大野小学校音楽室

指導者　　教諭　川村　咲季

１　題材構想

|  |  |
| --- | --- |
| 題材名 | どれみと　なかよく　なろう　教材名「どれみで　あいさつ」 |
| 題材の目標 | 1. 音色や旋律などと曲想との関わりに気付き、音の高さの違いに気を付けながら、階名で歌ったり鍵盤ハーモニカを演奏したりする技能を身に付ける。
2. 鍵盤ハーモニカの響きと曲想との関わりを考えながら、曲や演奏のよさや面白さを見いだして聴いたり、音の響きや旋律の違いを生かした表現の仕方について思いをもったりする。
3. 鍵盤ハーモニカの音色を生かした演奏を聴くとともに、互いの声や音を聴き合いながら、階名で歌ったり音の特徴を意識して鍵盤ハーモニカを演奏したりする学習に楽しんで取り組む。
 |
| 題材の評価規準 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ①鍵盤ハーモニカの音色、旋律や強弱の変化と曲想との関わりに気付いている。②鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりに気付き、音色に気を付けて、鍵盤ハーモニカを演奏する技能を身に付けて演奏している。③範唱や範奏を聴いて階名唱したり、絵譜を見ながら音色に気を付けて鍵盤ハーモニカを演奏したりする技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。④曲想と音色や旋律のまとまりとの関わりに気付き、階名唱したり、絵譜を見て声の出し方に気を付けながら歌ったりする技能を身に付けて歌っている。 | ①鍵盤ハーモニカの音色、旋律や強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。②鍵盤ハーモニカの音色や音の高低、長短、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音の出し方を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。③音色や音の高低、長短が生み出す違いを生かし、音の出し方を考えて、どのように演奏するかについて思いをもっている。④音色や旋律のまとまりを生かして、歌い方や音の出し方を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするか思いをもっている。 | ①鍵盤ハーモニカの音色や旋律との関わりに興味・関心をもち、蜜蜂の様子を思い浮かべながら聴く学習に楽しんで取り組もうとしている。②音色や音の特徴、階名への興味・関心を深め、音の出し方を考えて鍵盤ハーモニカを演奏したり階名唱したりする学習に楽しんで取り組もうとしている。 |
| 題材終了時の児童の姿（題材のゴールの姿・期待される姿） |
| これから出会う音楽について、音色や旋律などと曲想との関わりから、演奏の面白さを見出して聴いたり、音の出し方を考えて楽しく演奏したり、歌ったりしようとする児童。 |
| 題材を通した学習課題（題材の中心的な学習課題） | 本題材で働かせる見方・考え方 |
| どれみふぁそ めいじんになって、じどうしゅうかいで　はっぴょうをしよう | 　音楽に対する感性を働かせ、楽器の音色、旋律や強弱とその働きの視点で捉え、自己のイメージと関連付けること。 |
| 指導計画と評価計画（８時間取り扱い　本時　４／８） |
| 過程 | 時間 | 学習活動 | 評価の観点 |
| 一 | ２ | ○「みつばちハニーのぼうけん」を聴き、聞こえた音色や思い浮かべた場面・様子を友達と話す。 | 【態①】表情観察、発言内容★【知②】発言内容、演奏聴取○鍵盤ハーモニカの音色と強弱の仕方との関わりに気付き、音色に気を付けて演奏する技能を身に付けて演奏している。★【思②】行動観察、演奏聴取○鍵盤ハーモニカの音色や音の高低、長短、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音の出し方を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。 |
| ○音の高低や長短、強弱などを工夫して、鍵盤ハーモニカでいろいろな音を吹く。「たのしく　ふこう」 |
| 二 | ６ | ○音の出し方や息の強さに気を付けて、鍵盤ハーモニカでド、ソを演奏する。「どんぐりさんの　おうち」 | 【態②】演奏観察★【思③】行動観察、演奏聴取○音色や音の高低、長短が生み出す違いを生かし、音の出し方を考えて、どのように演奏するかについて思いをもっている。★【技③】行動観察、演奏聴取○範唱や範奏を聴いて階名唱したり、絵譜を見ながら音色に気を付けて鍵盤ハーモニカを演奏したりする技能を身に付けて歌ったり演奏をしたりしている。 |
| ○鍵盤ハーモニカで、まねっこ遊びをしながらド、レ、ミの位置を覚える。「どれみであいさつ」（本時） |
| ○鍵盤ハーモニカで、３音のまねっこ遊びをしながら、ファ、ソの位置を覚える。「なかよし」 |
| ○歌と鍵盤ハーモニカの役割に分かれて演奏する。「なかよし」 |
| ○まねっこ遊びをしながらド、レ、ミ、ファ、ソの位置を覚える。「なかよし」 |
| ○音の高さに気を付けて歌詞唱や階名唱をする。「ひのまる」 |

２　指導に当たっての留意点

○　１年生３名である。

○　学習計画が書かれたワークシートを配付することで、見通しを持って学習できるようにする。

○　指の置き方や指番号など、教科書の挿絵を示しながら指導を繰り返し、鍵盤の位置と指番号が対応することができる

ようにする。

* 「いろいろな　おとの　れい」を掲示しておくことで、息の使い方や音色に気を付けながら演奏することができるよ

うにする。

* 導入と終末を２学年一緒に活動することで、終末にお互いの演奏のよいところを発表することができるようにする。
* お手本の動画を児童に配付することで、指番号に気を付けながら児童だけで練習ができるようにする。
* 毎時間、終末に名人帽子にシールを貼る活動を設定することで、「どれみふぁそめいじん」に近づいていることを実感できるようにする。